

支援機器等教材活用実践事例フォーマット

<p>実践年度・タイトル</p>		<p>令和(元)年度 iPadを使って検索してみよう</p>
<p>授業について</p>	<p>教科名等</p>	<p><input type="checkbox"/>国語 <input type="checkbox"/>社会 <input type="checkbox"/>算数/数学 <input type="checkbox"/>理科 <input type="checkbox"/>生活 <input type="checkbox"/>音楽 <input type="checkbox"/>図画工作/美術 <input type="checkbox"/>家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/>体育/保健体育 <input type="checkbox"/>特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/>外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/>総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/>特別活動 <input type="checkbox"/>自立活動 ■各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/>その他の教科 <input type="checkbox"/>その他( )</p>
	<p>単元・題材名</p>	<p>校外学習の行き先を調べよう</p>
	<p>授業の目標</p>	<p>・iPadを使用する。 ・インターネットを利用し、検索する方法を学ぶ。 ・校外学習の行き先について知る。</p>
	<p>学力の3要素</p>	<p>■「知識及び技能」 <input type="checkbox"/>「思考力・判断力・表現力等」 <input type="checkbox"/>「主体的に学習に取り組む態度」</p>
<p>学習集団と子供の実態</p>	<p>学校・学部・学年・人数</p>	<p><input type="checkbox"/>通常の学級 <input type="checkbox"/>通級による指導 <input type="checkbox"/>特別支援学級 ■特別支援学校 <input type="checkbox"/>就学前 <input type="checkbox"/>小学生 ■中学生 <input type="checkbox"/>高校生以降 <input type="checkbox"/>特定されない (1・2・3)年(6)人</p>
	<p>対象の障害</p>	<p><input type="checkbox"/>視覚障害 <input type="checkbox"/>聴覚障害 ■知的障害 <input type="checkbox"/>肢体不自由 <input type="checkbox"/>病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/>言語障害 <input type="checkbox"/>自閉症 <input type="checkbox"/>情緒障害 <input type="checkbox"/>LD(学習障害) <input type="checkbox"/>ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/>その他</p>
	<p>子供の困難さ</p>	<p>■見ること ■聞くこと ■話すこと ■読むこと ■書くこと ■動くこと ■コミュニケーションをすること ■気持ちを表現すること ■落ち着くこと・集中すること ■概念(時間、大きさ等)を理解すること ■学習(計算、推論等)すること <input type="checkbox"/>その他 ・クラス全員を対象としており、それぞれに困難さが異なる。</p>
<p>支援機器等教材の活用について</p>	<p>活用の意図</p>	<p>Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/>A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/>A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(■B1情報入手支援 <input type="checkbox"/>B2機器操作支援 <input type="checkbox"/>B3時間支援) C学習支援(<input type="checkbox"/>C1教科学習支援 <input type="checkbox"/>C2認知発達支援 <input type="checkbox"/>C3社会生活支援) D実態把握支援(<input type="checkbox"/>D1実態把握支援) ・パソコンよりも、身近にある支援機器であり、これからの生活に欠かせない物となる可能性が高い。少しでも多く機器に触れ、操作に慣れさせたい。</p>
	<p>使用した支援機器等教材の名称と画像</p>	<p>支援機器: iPad アプリケーション: Safari</p> 
<p>授業展開</p>	<p>授業展開・支援の手立て</p>	<p>3人につき1台のiPadを使用した。事前にアプリの操作法、検索の手順などを、スクリーンショットで写真に納め、それを一つずつテレビに映し出すことで、全員で確認しながら操作することができた。ローマ字での文字入力や、画面上の文字を読むことが難しかったため、教師がすぐそばで支援できる体制を取り、授業を進めた。文字を読ませるよりも、写真などの画像を確認させることで、具体的なイメージを持たせるようにした。</p> 
<p>効果・評価</p>	<p>子供の様子や変容および授業の評価</p>	<p>操作手順を確認しながら確実に進むことができたが、文字入力で手間取っている様子が見られた。行き先や昼食について、自由に画像を見ることができたため、イメージしやすい様子であった。 文字入力を音声入力にし、生徒が自分で検索ワードまで考えられるとよかった。タブレットの台数が少なく、共同での使用となったため、人数分あると検索の幅が広がったと思う。</p>